

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

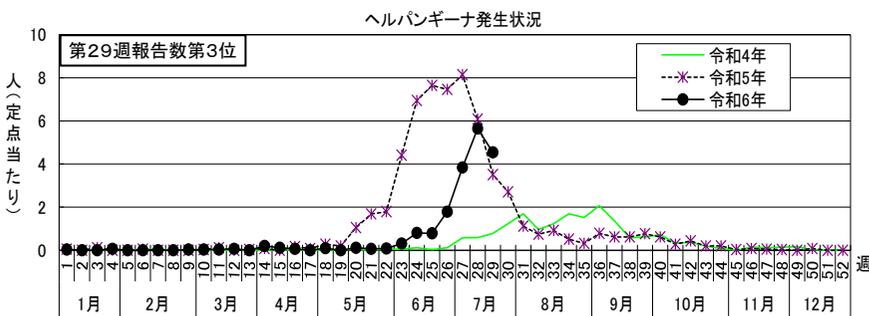
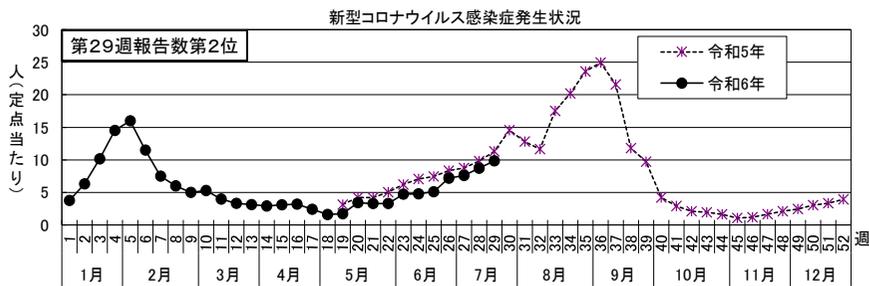
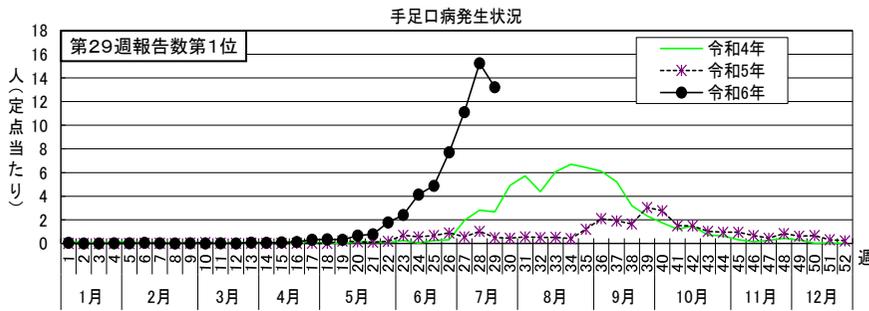
令和6年7月15日（月）～令和6年7月21日（日）〔令和6年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 新型コロナウイルス感染症 3) ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は13.22人と前週（15.24人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は9.84人と前週（8.70人）から増加しました。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.54人と前週（5.65人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

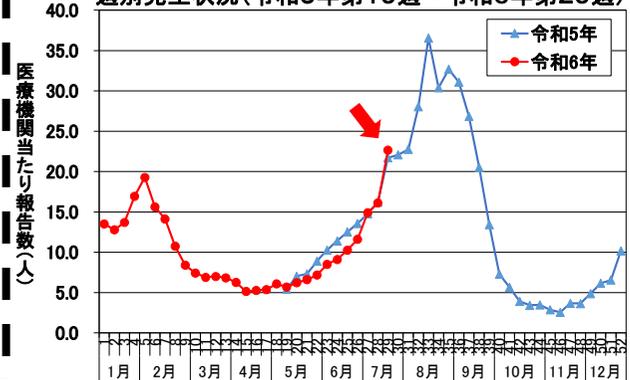


新型コロナウイルス感染症～報告数が増加しています！～

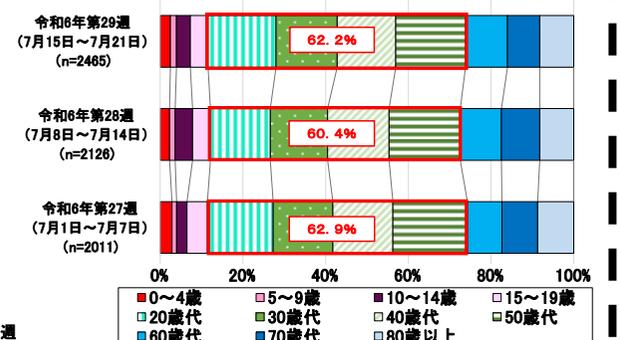
川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和6年5月以降徐々に増加し、第29週（7月15日～21日）には定点当たり9.84人となりました。昨年は5月中旬から患者数が増加し、9月初旬にピークを迎えており、今年も同様のペースで患者数が増加しています。また、本市のリアルタイムサーベイランスにおいても、5月頃から報告数が増加しており、過去3週間では20歳代から50歳代の報告割合が60%以上を占めていました。

夏休みに帰省や旅行等を予定されている方も多いと思いますが、体調が悪い時には無理をしないようにしましょう。また、咳や咽頭痛等の呼吸器症状がある場合は、周囲への感染拡大を防ぐためにもマスクの着用をお願いします。

リアルタイムサーベイランスにおける
新型コロナウイルス感染症の
週別発生状況（令和5年第19週～令和6年第29週）



リアルタイムサーベイランスにおける
新型コロナウイルス感染症の
年齢階級別報告数（令和6年7月1日～7月21日）



令和6年7月23日10時時点の川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）データより作成